

## 第4次国有林野事業流域管理推進アクションプログラム（沖縄中南部流域）

- 1 流域の特色（国有林 0千ha、民有林 13千ha）

沖縄中南部流域は、沖縄県の全41市町村が所在するなか、那覇市、沖縄市、うるま市など24市町村で構成され、半数以上の58%を占めている。  
特に、沖縄県の県庁所在地である那覇市周辺は、沖縄県最大の下流地域として一大消費基地となっている。  
また、同流域は離島地域を多く抱えており、沖縄本島の西から渡嘉敷村、座間味村、粟国村、渡名喜村、久米島町を所在し、遠くは南大東村、北大東村を所在しているが、いずれの地域にも国有林は存在しない。
- 2 流域内で優先的に取り組むべき課題  
当流域は県内3流域の中で最も人口の多い地域であるが、国有林が所在しないことから、教育関係機関が実施する森林環境教育について、民有林機関と連携した取組が必要である。
- 3 国有林野事業に対する流域内のニーズ・要望  
当流域においては、戦後荒廃した森林を復活させるために、民有林と連携した中南部流域の森作りに、自然と環境、事業として調和のとれた森林環境教育のあり方を検討すべきとの要請がある。
- 4 国有林野事業が率先して行う取組  
計画的な木材供給の推進  
  
森林施業の効率化・共通化等の取組  
  
林業技術の開発・普及・啓発、林業事業者の育成  
  
安全・安心への取組  
  
生物多様性保全に配慮した取組の推進  
  
上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等  
ア) 目標：教育関係機関と連携した森林環境教育の推進  
イ) 連携・協力機関：沖縄県、各市町村教育委員会、関係するNPO法人  
ウ) 取組方向：流域内の各市町村の教育関係機関へ森林・林業等に関する情報提供を行い、関係機関が実施する森林環境教育の支援を行う。

流域名・流域番号	沖縄中南部流域(157)	担当部署	沖縄森林管理署
計画期間	平成22年4月1日～平成25年3月31日		